○保健医療サービス　正解選択肢集　SOCIAL CONNECTION

年度	回	問題番号	問題文	正解選択肢
令和5年度	第36回	70	公的医療保険における一部負担金に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	被用者保険に加入中の生活保護の被保護者は、一部負担金のみが医療扶助の対象となる。
令和5年度	第36回	71	「令和2(2020)年度国民医療費の概況」(厚生労働省)に示された日本の医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	国民医療費の総額は40兆円を超えている。
令和5年度	第36回	72	診療報酬に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	診療報酬の請求は、各月分について行わなければならない。
令和5年度	第36回	73	医療法に基づく医療計画に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	医療提供体制の確保を図るためのものである。
令和5年度	第36回	74	訪問看護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	訪問看護は、居宅において看護師等により行われる療養上の世話又は必要な診療の補助を行う。
令和5年度	第36回	75	次の事例を読んで、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が紹介した現時点で利用可能な制度として、適切なものを2つ選びなさい。入院中のFさん(39歳、会社員)は、大学卒業後から継続して協会けんぽ(全国健康保険協会管掌健康保険)の被保険者であり、同じ会社の正社員である妻35歳と息子7歳との3人暮らしである。20代より生活習慣病を患い、保健指導と治療がなされたが行動変容は難しかった。Fさんは、3日前に糖尿病性腎症による人工透析導入のため入院することとなった。医師からは、約1か月前の入院となり、退院後は週に3日の継続的な透析治療が必要との説明を受けた。Fさんは、仕事は継続したいが、医療費や入院期間中の収入面の不安を訴えたことから、医師より医療ソーシャルワーカーを紹介された。	高額療養費制度
令和5年度	第36回	75	同上	傷病手当金制度
令和5年度	第36回	76	「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン(2018年(平成30年)改訂版」(厚生労働省)に沿った対応の方針として、最も適切なものを1つ選びなさい。Gさん(72歳)は、妻(70歳)と二人暮らし。10年前より筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断を受け、在宅で療養を続けてきた。診断を受けた当初、「人口呼吸器は装着せずに、自宅で自然な状態で最期を迎えたい」と言っていた。1か月前から言語の表出、自発呼吸が困難となり、人口呼吸器の装着について検討することとなった。	Gさん、家族、医療・ケアチームによる話し合いの場を設定する。
令和4年度	第35回	70	日本の医療保険の適用に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	健康保険組合が設立された適用事業所に使用される被保険者は、当該健康保険組合に加入する。
令和4年度	第35回	71	「令和元(2019)年度国民医療費の概況」(厚生労働省)に示された日本の医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	65歳以上の国民医療費は、国民医療費の50%を超えている。
令和4年度	第35回	72	診療報酬制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	地域包括ケア病棟入院料の算定は、1日当たりの包括払い方式がとられている。
令和4年度	第35回	73	日本の医療提供体制に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	介護医療院は、主として長期の療養を必要とする要介護者に対し、療養上の管理、看護、医学的管理の下での介護、必要な医療及び日常生活上の世話を行う。
令和4年度	第35回	74	後期高齢者医療制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	各医療保険者から拠出される後期高齢者支援金が財源の一部となっている。
令和4年度	第35回	75	事例を読んで、W病院の医療相談室のD医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)による、妊婦であるEさんへの支援に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。Eさん(33歳)は、会社員の夫(38歳)の健康保険の被扶養者であり、夫の母親(78歳、軽度の認知症、要介護1)と3人暮らしである。Eさんは現在、妊娠20週目で、第一子を出産予定である。実家は遠方で、実両親も高齢であることから、産後の子育てと義母の介護の両立に不安を抱えていた。義母は、昼間は通所型サービスを利用しているが、帰宅後は毎日同じ話を繰り返している。夫も多忙で残業も多く、頼りにできないとの思いを持っている。妊婦健診の結果は良好であるが、今後のことを考えると不安であるため、受診しているW病院の医療相談室を訪問した。	認知症高齢者の家族の会などの当事者同士が支え合う活動を紹介する。
令和4年度	第35回	75	同上	産前・産後の不安や負担などを相談するために母子健康包括支援センター(子育て世代包括支援センター)を紹介する。
令和4年度	第35回	76	不適切問題	なし
令和3年度	第34回	70	事例を読んで、公的医療保険とその給付などに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。大手企業の会社員Mさん(50歳)は専業主婦の妻(所得なし)と二人で生活し、年収は640万円、標準報酬月額は41万円である。年次有給休暇は計画的に取得し、日常の仕事の負担は重いとは感じていなかったが、11月中旬にW病院で胃がんと診断され、12月1日に入院となった。病床は本人の希望によって有料個室とした。翌日に胃全摘術を受け、12月20日に退院した。退院前日に病院から入院医療費の総額が96万9千円となることが告げられた。	Mさんの差額ベッド代は、公的医療保険からの給付の対象外となる。
令和3年度	第34回	71	「平成30年度国民医療費の概況」(厚生労働省)に基づく、2018年度(平成30年度)の国民医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	人口一人当たり国民医療費は、75歳以上の人口一人当たり国民医療費よりも低い。

令和3年度	第34回	72	災害拠点病院に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	災害派遣医療チーム（DMAT）を保有することになっている。
令和3年度	第34回	73	次の記述のうち、2014年（平成26年）の医療法改正（第六次）の内容として、正しいものを1つ選びなさい。	医療計画に地域医療構想の策定が位置づけられた。
令和3年度	第34回	74	患者の治療方針の決定に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	肝臓がんとの診断を受けたAさん（66歳）は、インフォームドコンセントとして、検査結果の内容と今後の治療方針について医師から説明を受け、治療に同意した。
令和3年度	第34回	75	次の記述のうち、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が行うとされる業務として、正しいものを1つ選びなさい。	理学療法士が、脳梗塞後遺症の患者に歩行訓練を行う。
令和3年度	第34回	76	事例を読んで、G医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）によるHさんの経済的な不安への対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさいHさん（48歳）は、企業に勤務する会社員で、専業主婦の妻（46歳）と大学生の長男（20歳）の3人暮らしである。2週間前に脳梗塞を発症し、現在、急性期病院に入院中である。主治医から、重度の麻痺（まひ）により今後は歩行が困難になるため、来週リハビリテーション病院に転院し、3か月ほどのリハビリテーション治療が必要であることを告げられた。転院等の相談のためにG医療ソーシャルワーカーが紹介された。G医療ソーシャルワーカーは、「医療費及び生活費などの経済的なことが心配です」と訴えるHさんに具体的な情報を提供した。。	勤務先から入院中の休業に対して報酬が支払われていなければ、傷病手当金を受給できることを説明する。
令和2年度	第33回	70	医療保険制度における保険者とその被保険者に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	健康保険の保険者には、全国健康保険協会が含まれる。
令和2年度	第33回	71	公的医療保険の保険給付に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	療養の給付は、保険医の保険診療を受けた場合に受けられる。
令和2年度	第33回	72	日本のがん対策に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。	地域がん診療連携拠点病院では、患者や家族に対して、必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニング（ ACP ）を含めた意思決定支援を提供できる体制の整備が行われている。
令和2年度	第33回	72	同上	がん診療連携拠点病院では、相談支援を行う部門としてがん相談支援センターが設置されている。
令和2年度	第33回	73	医療法等による地域医療構想に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。	都道府県は、構想区域等ごとに、診療に関する学識経験者の団体等（関係者）との協議の場を設けなければならない。
令和2年度	第33回	73	同上	地域医療構想では、地域における病床の機能分化と連携の推進が目指される。
令和2年度	第33回	74	日本における医師の資格、業務及び偏在に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	医師が正当な理由なく業務上知り得た秘密を漏らす行為は、刑法により罰せられる。
令和2年度	第33回	75	訪問看護ステーションの指定要件等に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	機能強化型訪問看護ステーションでは、利用者や家族からの連絡及び相談を24時間受ける体制を整備していること。
令和2年度	第33回	76	事例を読んで、X病院のB医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）のCさんへの対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。Cさん（ 43歳、男性）は、正社員として勤務する工場での仕事中に鋼板の落下によって頭部外傷を負った。救急病院で1か月の入院後、リハビリテーションの目的でX病院へ転院し3週間が経過した。下肢の片麻痺と高次脳機能障害があり、歩行のために下肢装具を製作した。CさんはB医療ソーシャルワーカーの下を訪れ、「労働災害として認められたが、今後の経済的なことがとても心配である。復職を含めたこれからの生活について相談したい」と話した。B医療ソーシャルワーカーはCさんの不安な気持ちに共感しながら具体的な情報を提供した。	休業4日目以降の休業期間中は、休業補償給付に加えて休業特別支給金が受けられることを説明する。
令和元年度	第32回	70	日本の医療費の自己負担限度額に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	食費、居住費、差額ベッド代は高額療養費制度の支給の対象とはならない。
令和元年度	第32回	71	医療施設等の利用目的に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	介護医療院の利用は、主として長期にわたり療養が必要である要介護者を対象としている。
令和元年度	第32回	72	特定健康診査及び特定保健指導に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	特定保健指導の目的は、糖尿病等の生活習慣病の予防である。
令和元年度	第32回	73	「地域における保健師の保健活動に関する指針」に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	地域診断を実施し、取り組むべき健康課題を明らかにする。
令和元年度	第32回	74	訪問リハビリテーションを行う際の理学療法士の業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	脳梗塞後遺症による筋麻痺（まひ）の患者に対して、医師の指示の下にマッサージをする。
令和元年度	第32回	75	事例を読んで、K医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）による終末期のLさんの家族への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。Lさん（58歳、男性）は、末期の肝臓がんであるとの告知を受け、現在入院中である。主治医からK医療ソーシャルワーカーに、Lさんの今後の療養について意思確認をするよう依頼があった。そのため、Lさんの下を一度訪れたが、現段階では決められないとLさんに面接を断られた。そこでK医療ソーシャルワーカーは、Lさんの了承を得た上で家族と面接を行った。	Lさんの意思決定支援を今後どうすべきか家族と話し合った。

令和元年度	第32回	76	事例を読んで、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が行う退院支援に関する次の記述のうち、この段階における対応で、適切なものを2つ選びなさい。先天性代謝異常の疾患に罹患(りかん)しているMちゃん(生後8か月)は、呼吸器を装着し頻回の吸引が必要であり、バルーンカテーテル、経管栄養を使用している。出生以来、NICU(新生児集中治療室)に2か月、小児病棟に6か月入院してきたが、主治医からの退院許可を受け、自宅での生活の準備を始めることになった。出生以来、Mちゃんの見舞いを欠かさずしてきた両親は、初めて自宅でMちゃんと一緒に生活することに喜びを感じていた。一方で病院から離れることに不安を感じ、これまで相談に乗っていた医療ソーシャルワーカーに不安を打ち明けた。	医療的ケア児等コーディネーターとの連携を検討する。
令和元年度	第32回	76	同上	訪問看護ステーションと両親を交えたカンファレンスを実施する。
平成30年度	第31回	70	日本の公的医療保険の給付内容に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	食事療養に要した費用については、入院時食事療養費が給付される。
平成30年度	第31回	71	「平成27年度国民医療費の概況」(厚生労働省)に基づく、日本の医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	入院と入院外を合わせた医科診療医療費の割合は、国民医療費の70%を超えている。
平成30年度	第31回	72	日本の公的医療保険の医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	特定健康診査の費用は、療養の給付の対象外となる。
平成30年度	第31回	73	診療報酬に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	診療報酬の点数は、通常2年に一度改定される。
平成30年度	第31回	74	へき地医療に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	へき地医療拠点病院では、遠隔医療等の各種診療支援を実施している。
平成30年度	第31回	75	医療関係職種の業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	作業療法士の業務の範囲に、両眼視機能の回復のための矯正訓練は含まれない。
平成30年度	第31回	76	事例を読んで、A医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)によるBさんへの対応として、この段階において最も適切なものを1つ選びなさい。日雇の仕事をしながら路上生活をしていたBさん(55歳)は、胃痛と吐血があったが、医療保険に加入しておらず医療機関を受診していなかった。吐血して路上で倒れているところを発見され、救急搬送されてきた。受診と検査の結果、担当医師から胃がんであることが本人に告げられた。Bさんは医療費の支払ができないので、このまま放っておいてくれと言い続けるだけであった。看護師が説得を試みたが本人の意向は変わらず、担当医師からA医療ソーシャルワーカーに電話が入った。	生活保護の医療扶助の説明を行い、申請手続を促す。
平成29年度	第30回	70	2008年度(平成20年度)から2015年度(平成27年度)における日本の医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	国民医療費に占める後期高齢者医療費の割合は、増加している。
平成29年度	第30回	71	診療報酬に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	障害者施設等入院基本料で算定される障害者施設等には、医療型障害児入所施設が含まれる。
平成29年度	第30回	72	医療施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	在宅療養支援診療所は、在宅医療を担当する常勤の医師を配置し、地域で在宅医療を提供する診療所である。
平成29年度	第30回	73	医療提供体制に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所は、口腔機能の管理を行う。
平成29年度	第30回	74	医療法の内容に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	病院、診療所又は助産所の管理者は、医療事故が発生した場合には、医療事故調査・支援センターに報告しなければならない。
平成29年度	第30回	75	医師法に規定された医師の業務に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	処方せんの交付は薬剤師に委任できない。
平成29年度	第30回	76	事例を読んで、緩和ケア病棟における緩和ケアチームの各専門職の視点と役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。Kさん(45歳、男性)は、肝臓がんにより入院中で余命3か月と告知された。疼痛は強く、時折、精神的に不安定な状態になる。Kさんは、残された時間を家族と共に自宅で生活をしたいと医療ソーシャルワーカー(以下、「MSW」という。)に申し出た。緩和ケアチームである緩和ケア医、がん看護専門看護師、薬剤師、管理栄養士、MSWはカンファレンスを開催し、各々の視点と役割を確認した。	管理栄養士は、KさんのQOLを考えた栄養指導を計画する。
平成28年度	第29回	70	「平成25年度国民医療費の概況(厚生労働省)に基づく、我が国の医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	国民医療費の総額をみると、初めて40兆円を超えた。
平成28年度	第29回	71	医療機関の基準に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	在宅療養支援診療所は、24時間、往診が可能な体制を確保することとされている。
平成28年度	第29回	72	保健所に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。	保健所における対人保健分野の業務として、エイズに関する個別カウンセリング事業がある。
平成28年度	第29回	73	医療・福祉の専門職に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	理学療法士は、在宅患者への訪問リハビリテーションについても、医師の指示の下に実施しなければならない。

平成28年度	第29回	74	事例を読んで、この時点において、Jさんに対する医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が行う支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。Jさん(40歳、女性)は正社員で、病院で重症筋無力症の初期(重症度Ⅰ)と診断された。現在の症状はごく軽度で仕事に支障はないが、医師からは、進行性疾患なので、今後のことを院内の医療福祉相談室で相談するよう勧められた。Jさんは、医療ソーシャルワーカーに今後も今の仕事を継続したいと話した。	職場環境や仕事内容を考慮して療養を支援する。
平成28年度	第29回	75	Kさん(20歳、男子大学生)は、2週間前にスノーボードの事故で脊椎損傷になり、特定機能病院に搬送され、入院となった。現在、両下肢不全麻痺があり、リハビリテーションが必要だが拒否しており、怒りや落ち込みなど精神的に不安定な状態にある。Kさんの担当になった医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が医療ソーシャルワーカー業務指針に沿って援助計画を立案するに当たって行うこととして、最も適切なものを1つ選びなさい。	Kさんに対して面接を行い、その中でリハビリテーションを受け入れない理由などの情報を収集する。
平成28年度	第29回	76	地域連携クリティカルパスに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。	連携する機関の間で診療計画や診療情報を共有する。
平成27年度	第28回	70	高齢者に対する医療保険制度における給付と負担に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	75歳以上の加入者の一部負担金は、加入者が現役並み所得者である場合には、療養の給付に要した費用の3割の額である。
平成27年度	第28回	71	「平成24年度国民医療費の概況」(厚生労働省)に基づく、国民医療費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	国民医療費に占める65歳以上の医療費の割合は、50%以上である。
平成27年度	第28回	72	日本の診療報酬制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	DPC対象病院の入院医療にかかる費用は、包括医療費支払い制度が適用される。
平成27年度	第28回	73	医療法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	退院療養計画書には、患者の退院後の療養に必要な保健医療又は福祉サービスに関する事項が記載されている。
平成27年度	第28回	74	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	作業療法士の行う作業療法は、身体又は精神に障害のある者を対象としている。
平成27年度	第28回	75	救急医療の場面において、医療ソーシャルワーカーが医療ソーシャルワーカー業務指針にのっとって行う業務に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。	患者が医療費の支払いに困窮している場合には、福祉、保険等関係諸制度を活用できるように援助する。
平成27年度	第28回	75	同上	患者が医療上の指導を受け入れない場合には、その理由となっている心理的・社会的問題の解決に向けて援助を行う。
平成27年度	第28回	76	事例を読んで、回復期リハビリテーション病棟における復職を支援するチームの在り方に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。教職員が120人いる私立中学校の事務職員をしているJさん(50歳、男性)は、脳出血で倒れ、現在は、休職して回復期リハビリテーション病棟に入院している。後遺症として、右片麻痺、言語障害があり、理学療法、作業療法、言語聴覚療法やソーシャルワーカーの支援を受けている。この度、職場復帰に向けた方針をチーム内で検討することになった。	職場での配慮や環境調整のために、Jさんの同意を得て、産業医に必要な情報を提供する。
平成27年度	第28回	76	同上	Jさんの復職に関する課題を解決するために、タスク機能とメンテナンス機能を発揮する。
平成26年度	第27回	70	医療保険の高額療養費制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	高額療養費における自己負担額の「世帯合算」では、被保険者と被扶養者の住所が異なっていても合算できる。
平成26年度	第27回	71	「平成23年度国民医療費の概況(厚生労働省)に基づく次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	国民医療費を年齢階級別にみると、「75歳以上」が全体の約3分の1を占めている。
平成26年度	第27回	72	事例を読んで、Jさんが利用しているサービスに関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。長男の家族と離れて一人暮らしをしていたJさん(80歳)は、最近、Uサービス付き高齢者向け住宅に移り住んで、サービスを受けている。持病のあるJさんに対しては、最寄りの在宅療養支援診療所であるVクリニックがW訪問看護ステーションと連携して、訪問診療や訪問看護を提供し、在宅療養を継続している。	Vクリニックは、24時間連絡を受ける医師又は看護職員をあらかじめ指定しなければならない。
平成26年度	第27回	73	医療計画に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	医療計画の策定主体は、都道府県である。
平成26年度	第27回	74	保健師・助産師・看護師などに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	保健師は、育児上必要があると認められた出生後28日までの乳児に対し訪問指導を行うが、引き続き指導を必要とする場合には、28日を超えても行うことができる。
平成26年度	第27回	75	日本における医療ソーシャルワーカーの職能としての発展に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	1953年(昭和28年)に、日本医療社会事業家協会が設立されたことにより、日本における全国的な医療ソーシャルワーカーの職能団体が立ち上がった。
平成26年度	第27回	76	生活保護を受給している一人暮らしで、軽度の知的障害のある入院患者Kさん(30歳、男性)について、今後の治療法と治療機関の選択をするため、医師とKさんによる話し合いが医療ソーシャルワーカー同席の下で行われた。話し合いの内容が複雑なため、Kさんが自分の希望を明確に医師に伝えることが難しいと予想した医療ソーシャルワーカーは、あらかじめKさんと話し合った結果に基づきKさんの状況とニーズについて、Kさんに代わって話し合いの場で医師に伝えた。次のうち、こうした医療ソーシャルワーカーの行為を表す用語として、正しいものを1つ選びなさい。	アドボカシー

平成25年度	第26回	70	事例を読んで、後期高齢者医療制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。長い間農業に従事し、現在無職のDさん(80歳、男性)は、認知症を発症し、その治療のため精神科を、その他に耳鼻科、内科を受診している。Dさんは年金以外の収入はなく、息子夫婦と孫と合わせて5人で生活しており、息子夫婦は共働きの民間企業サラリーマンで、標準的な所得の家庭である。	Dさんのように治療が多岐にわたるなど、一部負担が一定額を超えた場合、後期高齢者医療制度の一部負担は高額療養費制度の対象となる。
平成25年度	第26回	71	2010年度(平成22年度)までの「国民医療費の概況」(厚生労働省)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	制度区分別国民医療費では、医療保険等給付分の次の比率が多いのは、後期高齢者医療給付分である。
平成25年度	第26回	72	我が国の診療報酬制度に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。	診療報酬の改定は、中央社会保険医療協議会の答申を経て行われる。
平成25年度	第26回	72	同上	診療報酬の審査・支払権限は、健康保険組合等の保険者にある。
平成25年度	第26回	73	我が国の医療提供施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	地域医療支援病院の承認要件には、救急医療を提供する能力を有することが含まれる。
平成25年度	第26回	74	「障害者総合支援法」の保健医療サービスに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	入院時の食事療養費と生活療養費(いずれも標準負担額相当)については原則自己負担となる。
平成25年度	第26回	75	2002年(平成14年)に改訂された医療ソーシャルワーカーの業務指針に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	医療ソーシャルワーカーの業務における連携の対象には、他の保健医療スタッフだけでなく地域の関係機関も含まれる。
平成25年度	第26回	76	事例を読んで、がん告知を受けた患者と家族への医療ソーシャルワーカーの対応に関する次の記述のうち、この時点で最も適切なものを1つ選びなさい。Eさん(49歳、男性)は、共働きの妻と大学生の子どもの3人暮らしである。R病院を受診したところ、医師から初期の胃がんの告知を受けて、これから入院・手術の後、抗がん剤治療を開始することとおになった。外来看護師から医療ソーシャルワーカーに、Eさんの生活上の相談に乗ってほしいとの連絡があり、面接を行った。相談内容は、医療費や生活費の収入面と、休職予定の会社での就労継続についての不安であり、相談の様子は冷静であった。	今後のEさんの援助方針を検討するために、Eさんの許可を得て、主治医に治療の見通しや就労制限について確認する。
平成24年度	第25回	70	事例を読んで、医療保険に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。Cさんは40年以上勤めあげた会社を63歳で退職し、年金生活を送ることになった。Cさんは民間の大手企業に勤める息子と同居している。退職すると、自分が属していた健康保険組合の被保険者証を返還しなければならず、その翌日から所属していた会社の被保険者資格がなくなる。Cさんは新たな医療保険に加入するため、その方法について決める必要があった。	Cさんが国民健康保険の適用になれば、その自己負担の割合は3割である。
平成24年度	第25回	71	2009(平成21)年度の国民医療費等に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	65歳以上の年齢層の国民医療費の総額は、それ未満の年齢区分の総額よりも大きい。
平成24年度	第25回	72	我が国の診療報酬制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	医科の外来診療報酬については、病院と診療所で共通の点数表となっている。
平成24年度	第25回	73	我が国の医療提供施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	介護老人保健施設は、医療法上の医療提供施設である。
平成24年度	第25回	74	事例を読んで、地域医療支援病院と在宅療養支援診療所等との連携に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。Dさん(80歳)は体調が悪く、最寄りの在宅療養支援診療所であるQクリニックで診療を受けたところ、地域医療支援病院であるR病院での診療を紹介された。R病院では直ちに入院のうえ、4日後に手術となった。2週間後、Dさんは無事R病院を退院し、自宅にっ戻ることができた。その後、Qクリニックが、S訪問看護ステーションと連携して、Dさんの在宅療養の支援に当たっている。	Qクリニックの医師は、24時間往診や必要な機関と連携して、24時間訪問看護が可能になる体制を確保しなければならない。
平成24年度	第25回	75	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び介護福祉士の資格と業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	理学療法士又は作業療法士の行う理学療法又は作業療法は、保健師助産師看護師法の規定にかかわらず、診療の補助としての位置づけがなされている。
平成24年度	第25回	76	医療における地域連携システムに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。	医療計画においては、居宅等における医療の確保について記載することが規定されている。
平成23年度	第24回	63	国民医療費に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	保険薬局の調剤費は含まれるが、市販の売薬の費用は推計費用に含まれない。
平成23年度	第24回	64	事例を読んで、次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。P健康保険組合の被保険者であるFさん(40歳)は、病気で最寄りの保険医療機関であるQ病院に入院し、治療を受けた。このときの費用としては、Fさんの一部負担金のほか、病室として特別の個室を選択したので、その室料差額も支払った。	Fさんの特別の個室の選択は、保険外併用療養費が支給される選定療養に当たる。
平成23年度	第24回	65	医療法上の医療提供施設に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	臨床研修制度成立後は、新たに医籍登録された医師が病院の管理者になるためには、臨床研修棟を終了しなければならないと定められた。
平成23年度	第24回	66	厚生省(現厚生労働省)が進めてきた国民健康づくり対策に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	「第三次国民健康づくり対策(健康日本21)」の新しい特徴は、国の健康目標値を定めて評価することにより、対策を促進しようとすることである。
平成23年度	第24回	67	医師等に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	医師の臨床研修のマッチング結果は、近年(平成17年度から平成22年度)、臨床研修病院が大学病院を上回っている。

平成23年度	第24回	68	インフォームドコンセントに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	医療提供者は、患者の入院時の入院診療計画書の作成や患者又は家族へ説明を行うよう医療法で求められている。
平成23年度	第24回	69	事例を読んで、地域連携に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。Gさん(70歳、女性)は、脳梗塞により左片麻痺を発症し、R急性期病院で入院加療の後、脳卒中地域連携クリティカルパスによりS回復期リハビリテーション病院へ転院した。そこで約100日間のリハビリテーションを受け、退院前に要介護3の認定を受けて自宅退院することとなった。Gさんは退院後もリハビリテーションの継続を希望しており、S病院はT介護支援事業所と連携し、退院調整を行うことを検討している。	S病院の社会福祉士等が、T事業所の介護支援専門員と共同して利用可能なサービスなどについてGさんに説明、指導を行った場合には、S病院は「介護支援連携指導料」を算定できる。
平成22年度	第23回	63	平成19年度の国民医療費(34兆円)の負担・分配・費用に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	医療機関の運営に関する費用のうち、最も大きいのは医師や看護師など医療サービス従事者の人件費であり、全体の5割を占めている。
平成22年度	第23回	64	保険診療は、被保険者、保健医療機関等、審査支払機関、医療保険者の4者によって構成されるが、その仕組みに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	審査支払機関は、「レセプト」が保険医療機関及び保険医療養担当規則等に合致しているか、また、医学的に妥当かなどを審査して、その療養の給付に関する費用を保険医療機関等に支払いをする。
平成22年度	第23回	65	診療報酬に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	診療報酬には、医科診療報酬・歯科診療報酬・調剤報酬がある。
平成22年度	第23回	66	診療報酬における回復期リハビリテーション病棟に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。	一定の範囲の疾患・患者について、ADL能力の向上と寝たきり防止及び在宅復帰を目指してリハビリテーションを集中して行う病棟である。
平成22年度	第23回	67	保険医療サービスにおけるインフォームド・コンセントのあり方と医療ソーシャルワーカーの役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。	U病院では、筋萎縮性側索硬化症などの難治性神経疾患患者・家族に対して、診断・治療について医師が説明lする場面には、看護師や医療ソーシャルワーカーも同席することにしている。
平成22年度	第23回	68	事例を読んで、リハビリテーション医療をチームで行うときのそれぞれの専門職の役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。第1子の出産時、くも膜下出血を発症して手術をしたが、軽い右片麻痺と失語・失行・失認の症状が残ったFさん(29歳)に対して、自宅で育児ができるようになることを目的としてリハビリテーションを行う。	リハビリテーション専門医は、Fさんの脳外科の主治医の考えを踏まえ、リハビリテーションスタッフの意見を聞いてリハビリテーションの方針を立て、全体を統括する。
平成22年度	第23回	69	事例を読んで、退院支援に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。一人暮らしのGさん(70歳、男性、身体障害者手帳1級)は、糖尿病による慢性腎不全にて、透析歴5年であるが、最近視力低下が著しく屋内外でよく転倒する。視力測定をしたところ、両眼の矯正視力の和が0.01に満たない。退院後は、外来で週3回の血液透析と糖尿病の通院治療をする必要がある。介護保険は要介護2であり、居宅サービスを受けて支給限度額の大半を使っていた。Gさんの楽しみは、月に1回開催される老人クラブの講演会に参加することである。	医療ソーシャルワーカーは、Gさんが移動支援事業を利用するなどして通院や講演会の参加が続けられるよう支援する。
平成21年度	第22回	63	現行の医療保険制度のうち，高額療養費制度に関する次の記述のうち，正しいものを一つ選びなさい。	高額療養費の自己負担限度額は70歳未満の場合，所得水準ごとに3つの限度額が設けられている。
平成21年度	第22回	64	平成18年度の国民医療費に関する次の記述のうち，正しいものを一つ選びなさい。	国民医療費の診療種類別構成割合はおおよそ，一般診療費(入院)4割，一般診療費(入院外)4割，歯科診療費その他2割となっている。
平成21年度	第22回	65	次のうち，地域医療支援病院に必要とされる要件として，正しいものを一つ選びなさい。	地域の医療従事者に対する研修能力
平成21年度	第22回	66	医師EがFさんに対して，Fさんの検査結果を伝え，病名や入院の必要性，今後の検査・手術・投薬・副作用・その他必要な治療法・予後・代替治療法などについて説明した。Fさんからは，治療期間や安全性などの質問があり，医師Eは時間をかけて丁寧に話した。話し合いの結果，Fさんは入院して手術を受けることを承諾し書類にサインした。次のうち，こうした一連の行為を表す用語として，適切なものを一つ選びなさい。	インフォームドコンセント
平成21年度	第22回	67	地域連携クリティカルパスにおける地域医療連携の方法に関する次の記述のうち，最も適切なものを一つ選びなさい。	大腿骨頸部骨折と脳卒中に対して，退院後の生活までを視野に入れてケアを行う地域医療連携クリティカルパスが，診療報酬上の評価の対象となっている。
平成21年度	第22回	68	保健・医療・福祉職の役割や連携に関する次の記述のうち，適切なものを一つ選びなさい。	リハビリテーション医療では，患者の生命の尊重と個人の尊厳を保持しつつ，医療や福祉の情報を交換し，多職種のチームで対応することが求められている。
平成21年度	第22回	69	事例を読んで，末期がん患者Gさんの在宅生活を支える医療体制の整備について，緩和ケアチームが行う次の記述のうち，最も適切なものを一つ選びなさい。末期のがんで入院中のGさん(56歳，男性)は死期が迫っており，本人と家族(母親82歳)は，「家で死にたい」「家で看取りたい」と強く希望している。病院ではGさんの意向を尊重し，Gさんを退院させ，在宅生活へ移行させることとした。ここでの課題は，全身医療管理と疼痛コントロール等であり，H医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)を含む緩和ケアチームを結成し，在宅医療連携について検討した。	Gさんの疼痛コントロールが重要なので，本人や家族に日常的なコントロールを退院時までに指導し，地元の主治医にも情報を伝え，緊急時の対応を依頼する。